

- 2 . 科学わくわくプロジェクト

科学わくわくプロジェクトは、財団設立20周年を迎えるにあたり、マツダ財団と広島大学が連携して青少年の健全育成と科学技術の振興を目指して実施する新事業です。

本事業は、小中高の児童や生徒が科学に興味を持ち、科学する楽しさを学び、科学者・技術者となる志を培ってもらい、そして科学・技術を大切にする地域風土づくりに貢献したいという視点からの研究助成です。

科学わくわくプロジェクトは、

- ・ 現場の教員との議論により生まれたプロジェクトである
- ・ 財団と大学の連携事業である
- ・ 多様な事業で構成される複合的な事業である

といった特徴を有すると共に、教育効果の評価を通じて学校教育への波及効果も期待されます。

昨年度の試行を踏まえ、設立20周年を迎える本年度から本格的な展開を開始しました。

(1)助成趣旨 次の時代を担う小学生・中学生・高校生に、考えること、学ぶことにわくわくする体験、正解のない問題に取り組むブラックボックスをこじ開けてみる体験といった機会を継続的に提供することにより、科学する心を育てることを目的としています。

(2)助成対象 助成先；広島大学科学わくわくプロジェクト研究センター
研究代表者；広島大学大学院 教育学研究科 教授 林 武広
主要事業；
サイエンスレクチャー；2004年8月5日 開催
・講師；広島大学 先端物質科学研究科 鈴木 孝至 教授
・テーマ；「極低温の不思議な世界を探ろう」、中学生対象（200人）
ジュニア科学塾；2004年8月26・27・28日、9月4日 開催
・塾長；広島大学 大学院理学研究科 大杉 節 教授
・テーマ；「電気の正体を知ろう」、中学生対象（12人）
科学塾；2004年8月17・18・19日、9月11日 開催
・塾長；広島大学 大学院理学研究科 大杉 節 教授
・テーマ；「宇宙のあり方を決める6つの物理定数」、高校生対象（12人）
小学理科ネット；2004年5月 本格運用開始
・小学校教員他、内容「理科実験・観察等に関わる情報交換」

(3)助成金額 600万円